

### 光も「大漁」港町 気仙沼で（イルミネーション）点灯式

「冬の気仙沼を彩る「気仙沼クリスマスイルミネーション」が12月5日、気仙沼市中心部で始まった。

同市港町の海鮮市場「海の市」で点灯式があり、道路や街路樹に取り付けられた約30万個の発行ダイオード（LED）電球が一斉にとともに、市民から歓声が上がった。女性歌手 May J.さんのチャリティライブもあった。

市民有志が東日本大震災後の2012年冬に始め、4回目。内湾地区で防潮堤建設工事が始まったため、点灯箇所を田中前地区（市内の新興中心街）にも広げた。事業費約900万円の確保が課題で、実行委員会が募金への協力を求めている。

来年1月6日（15日）まで。点灯時間は午後6～10時。12月6日午前9時半からは海の市で同市出身のシンガー・ソングライター熊谷育美さんらによるステージもある。宮井和夫実行委員長（40）は「子どもたちに笑顔になってもらい、復興に向かう街を盛り上げたい」と話した。（「河北新報」15年12月6日付け）

### 3・11 津波と原発事故が市民の生き方を変えた！

「日本の日の丸なぜ赤い」「還らぬ息子の血で赤い」 今年安倍自公政権によって、戦争の足音が直ぐそこまでやって来た1年でした。それと共に、シールズやママの会・学者の会等の多くの市民が、平和と民主主義・立憲主義を守るために立ち上がった1年でした。

私は、3・11 津波と原発事故が、私を含めて、市民の生き方を変えたのではないかと思います。多くの市民が、被災地や被災者へ思いをはせるとともに、募金やボランティア活動等、自分のできることを行いました。

社会や他の人達と、自分が向き合う中で、多くの市民が、自分と社会との関係や、家族や他人との結びつき（絆）について考えました。その結果、多くの市民が国家に対して、異議申し立てをしたのではないかと思います。

2011年3月11日、この日が「21世紀型市民革命」の始まりの日になるのかもしれませんが。

東北にいと、戦争法案（安全保障関連法案）について、国会前の集会等が、なかなか実感できません。しかし、来年の参議院選挙に向けて、野党統一候補の動きが、秋田・山形・宮城各県で、始まっています。

この1年間、つたない「気仙沼通信」を読んでいただき、有難うございました。  
私事で申し訳ありませんが、年賀状は省略させていただきます。  
「気仙沼通信」の新年号で、お目にかかりましょう！

【イルミネーション 海の市付近（気仙沼市）】



【イルミネーション プラザホテル付近（気仙沼市）】

